



全力投球

中学校からの連絡はタウンメールの配信、ホームページでおこないます。

湖南省立石部中学校 学校便り NO3
ホームページでも見ていただけるようになりました。



6月1日(月)より学校再開される。

新型コロナウイルス対策をしながらの学校生活

5月後半から分散登校日を設けて、週1~2回程度の登校をおこなってきました。6月からはようやく全校生徒が登校できるようになりました。ただ、新型コロナウイルスによる感染が完全に治まったわけではありません。学校生活の中で、感染予防に細心の注意を払う必要があります。マスク着用、手洗い、換気の徹底、手の触れる場所のこまめな消毒などはもちろんですが、飛沫感染をさけるため、体の接触する遊びや運動の制限、話し合い活動の制限など、授業、休み時間、部活動、給食、行事など、すべての学校生活で見直しが必要になっています。今まで当たり前にしてきたことができなくなったりします。国、県市町との連携を取りながら進めていきます。また、状況が変化することで突然の計画変更がおこることもありえるとお考えください。ご理解のほどよろしくお願ひします。



5月 分散登校のようす 1年



100日ぶりの部活動再開 6/9

◎学校生活について

- ・ハグや握手などの身体の接触がともなうことは、慎むようにしてください。
- ・必ずマスクの着用をお願いします。
- ・検温を実施し、熱がある場合は登校を控えてください。
- ・せっけんを使用した手洗いをしてください。
- ・教室は換気を行います。(冷房中も)
- ・更衣室での密を減らし、洗濯をすることが

容易であることから、**体操服登校や体操服で授業を受けることを認めます。**

- ・体操服の替えがない場合は、白基調のTシャツも体操服として認めます。
- ・熱中症予防のため、スポーツ飲料の持参も可能とします。

◎給食について

- ・座席配置を工夫し、相対せず、間隔を広くし、食事を取ります。
- ・配膳時、手指消毒などで、感染防止措置をとります。
- ・今まで以上に手洗いやトレイ、机の消毒などを徹底していきます。

◎部活動について

- ・3ヶ月間にわたる休校期間があったため、無理なく徐々に体を慣らしていけるように配慮していきます。
6/8~6/12 最大週2回 6/13、14 最大どちらか3h程度
6/15~6/19 最大週3回 6/20、21 最大どちらか3h程度
6/22~ 最大週4回 土日どちらか最大3h
- ・3年生は中体連春季、夏季大会、吹奏楽コンクール等がなくなりました。お別れ会、校内試合、発表会、親善交流試合、協会主催大会参加などで引退のけじめとしていきたいと考えています。

◎行事について

- ・2年職場体験については今年度中止とします。
- ・体育祭文化祭については、内容を検討し、実施に向けて考えて行きます。
- ・3年修学旅行は、新型コロナウイルス感染症の流行状況をみて再度判断していきます。



授業も再開されました





- 1 学期テストは 7/9、7/10 に実施予定です。
- 成績については、前期後期の 2 回に分けて通知していきます。（1 学期末には配布しません）
（全学年三者懇談会を前期の成績がでてから行います。（10/19～10/23 の予定））
- 高等学校の入試日程などは、まだ発表になっていません。例年より遅れて 7 月に発表される予定です。

◎授業時数

- 1 学期の終業式は 7 月 31 日におこないます。2 学期の始業式は 8 月 21 日に行います。給食も実施します。（夏休み期間は 8/1～8/20 になります。）
- 2 学期の終業式は 12 月 25 日におこないます。3 学期の始業式は 1 月 6 日に行います。（冬休み期間は 12/26～1/5 になります。）

◎「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準（滋賀県の「地域の感染レベル」は「レベル 1」）です。

※地域の感染レベルは、1 週間ごとに見直し発表される予定です

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動	部活動（自由意志の活動）
レベル 3	できるだけ 2m 程度（最低 1m）	行わない	個人や少人数でのリスクの低い活動で短時間の活動に限定
レベル 2	できるだけ 2m 程度（最低 1m）	リスクの低い活動から徐々に実施	リスクの低い活動から徐々に実施し、教師等が活動状況の確認を徹底
レベル 1	1m を目安に学級内で最大限の間隔を取ること	十分な感染対策を行った上で実施	十分な感染対策を行った上で実施



断捨離 （校長のつぶやき）

新型コロナウイルスにより、外出もままならない状況が続きました。この機会をいかして荷物の整理を行いました。今まで、忙しいことを理由に、あえて気がつかないふりをし、放置してきた物がたくさんありました。子ども部屋として使っていた部屋は、数年前から倉庫としてつかわれ、ありとあらゆる物品の置き場になってしまっています。あまり勉強していた姿は見なかったように思いますが、学習机は 3 台あります。お菓子のおまけのシールがぺたぺたと貼られたままです。どうやらピックリマンチョコのシールと思われます。ランドセルも赤、黒、桃の三色が捨てられずに残ってしまいました。古びて、カビも生えています。もう使うこともないはずなのに。子どもらの図工作品や絵日記も出てきます。秀逸だったのは、娘が中学卒業時に、私たち親にあてた手紙でした。「……今までありがとうございました。私ももうすぐ高校生になります。お金の方は大丈夫でしょうか？」娘なりに家の経済状況を心配してくれていたのでしょう。が、ちょっと笑ってしまいました。

私自身のものでは、教師になりたての頃の板書ノートが出てきました。授業で黒板に書く計画を立てたものです。最初のページは、「顕微鏡の使い方」でした。次のページには、顕微鏡図も貼っていました。当時はまだ、プリントも手書きが普通で、ワープロ書きになったのも、あと数年たってからでした。手に取ると、それぞれに思い出がありすぎて、断捨離が思うように進みませんでした。そんな中、何とも言えない複雑な気持ちになったのは、パ
ーマをあてている大学生時代の自分の写真を発見したときでした。とりあえず色あ
せた写真を、スマホでデジタル保存しておくことにしました。

